

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Apr.2017

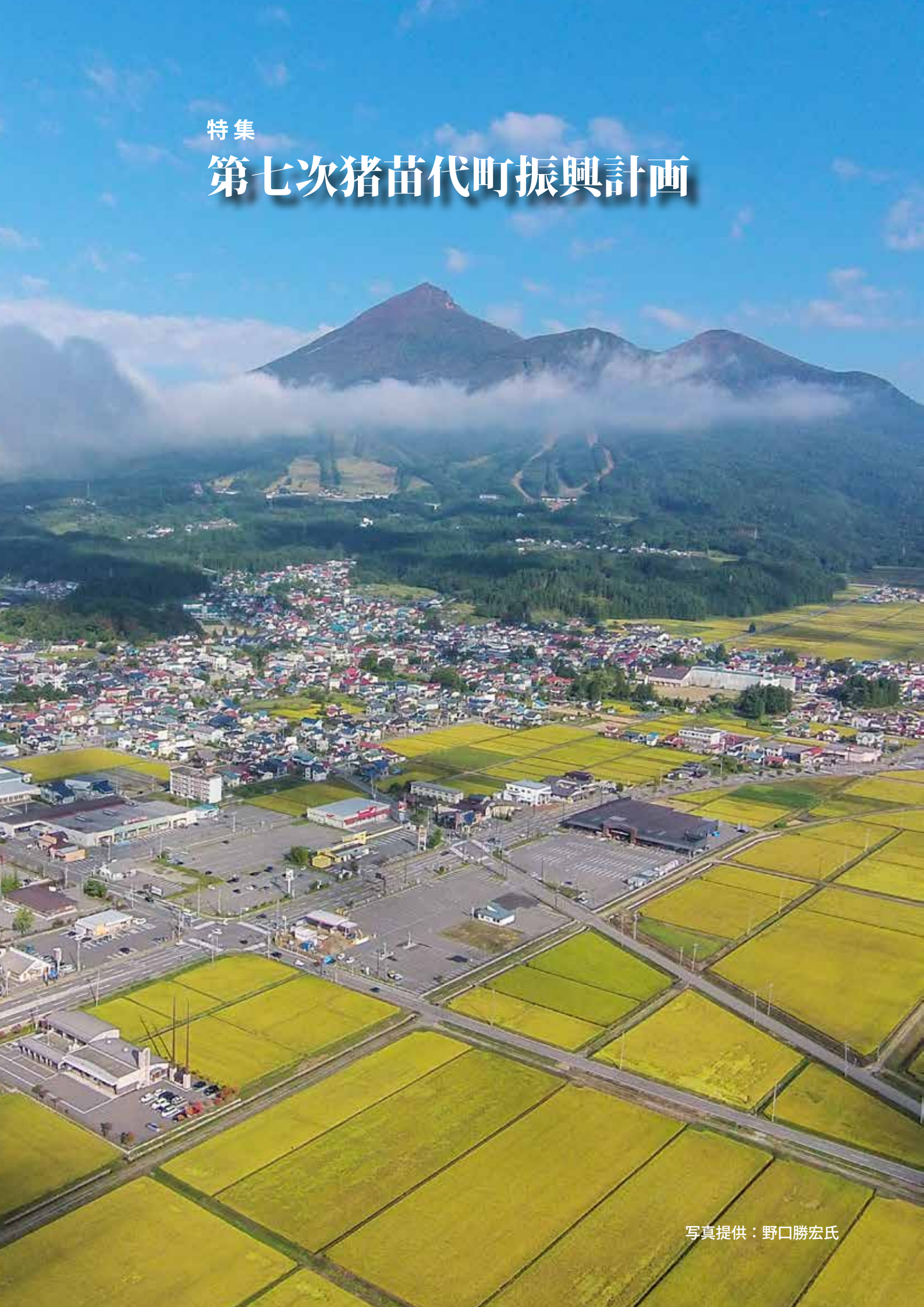
4

No.678



特集

第七次猪苗代町振興計画



写真提供：野口勝宏氏

Pick Up

今月のイベント

小林栄顕彰会が設立



講演する新城理事長

野口英世博士の恩師として知られる小林栄先生の功績をたえる「小林栄顕彰会」の設立総会は3月5日、野口英世至誠館で開かれました。

昨年、小林栄生家の保存に向けた動きや小林先生が開いた猪苗代日新館開館100年などがきっかけとなり、有志による顕彰会設立準備会が組織され、会員を募集。同日までに約180人が顕彰会に参加しました。

設立総会には約70人が出席し、設立準備会代表で末廣酒造社長の新城猪之吉さん(会津若松市)を理事長に選出しました。新年度の事業として、講演会や演奏会、企画展などを開催することが承認されました。また、町内の小・中学生に向けて、小林先生の功績を紹介する小冊子を作製する予定です。

総会後、新城理事長が小林家と新城家のゆかりや歴史について講演しました。また、レコードに録音された晩年の小林先生の肉声が初公開されました。小林先生は約17分間にわたって野口博士の生涯などを語り、博士の功績をたたえていました。

主な役員は次のとおりです(敬称略)。

▽理事長 新城猪之吉
▽副理事長 坂直孝、鬼多見賢
▽専務理事 小楢山六郎
▽監事 五十嵐憲雄、小林光子

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Apr.2017
4
No.678



【撮影日】3月17日
【撮影場所】さくらこども園

今月の表紙

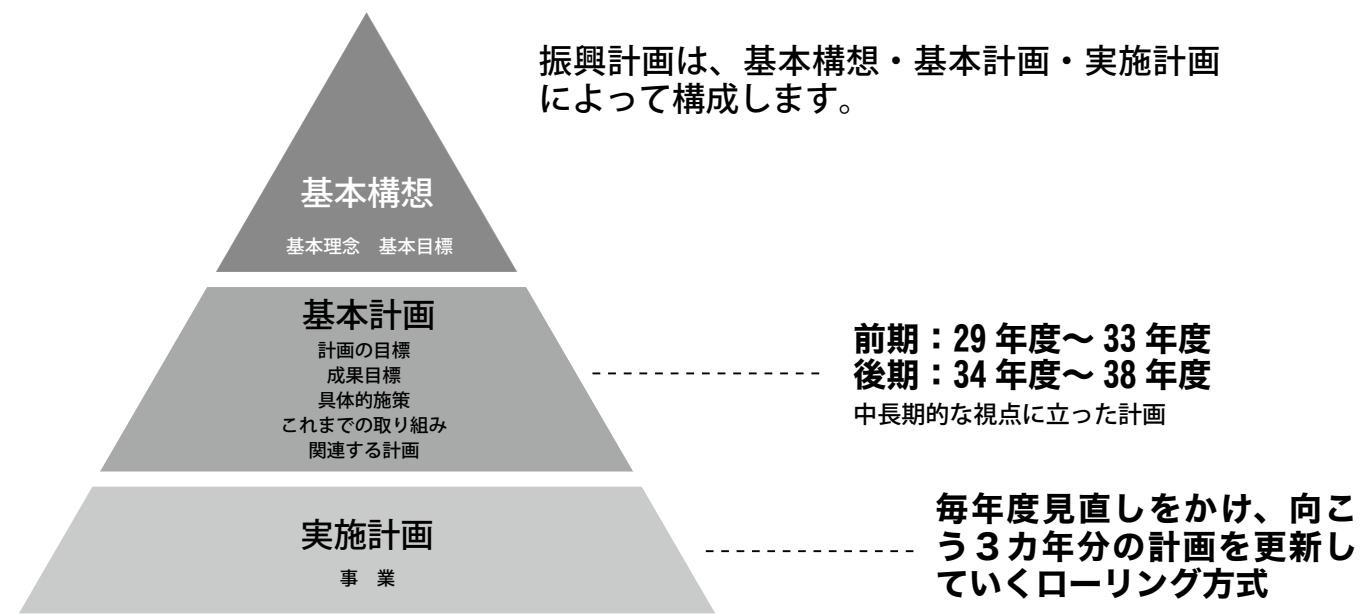
さくらこども園修了証書授与式で園長先生から修了証を受ける古内駿 くん。4月からはピカピカの1年生。檀上での表情はすっかりお兄さんですね。(関連12ページ)

Contents — 【目次】

- 02 PICK UP
- 03 特集 第七次猪苗代町振興計画
- 10 平成29年度予算
- 12 写真特集 卒業・卒園
- 14 まちのわだい
- 16 笑顔でこんにちは／はじまりの美術館企画展
- 17 平成27年度町有施設の温室効果ガス(二酸化炭素)排出量を公表します
- 18 いなわしろタウンページ
- 22 暮らしの情報広場
- 24 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

◆第七次猪苗代町振興計画の構成

基本理念「ともに地域を育て、みんなが心地よく暮らせるまち 猪苗代」



●基本理念を実現するため、5つの分野の基本目標を定め、計画的なまちづくりを進めます。

1. 安全・安心を肌で感じる。	【目標の概要】 (1) まちの基盤づくり (2) 安全・安心のまちづくり (3) きめ細やかな子育て支援 (4) 福祉と健康のまちづくり
2. 豊かな自然を活かしきる。	【目標の概要】 (1) 観光まちづくりの推進 (2) 地域産業の振興 (3) 自然資源の保全と活用
3. いつまでも猪苗代に暮らす。	【目標の概要】 (1) 魅力的なライフスタイルの実現 (2) 地域文化を基盤とした交流 (3) 生涯学習の推進
4. 人をつくる。そして、まちをつくる。	【目標の概要】 (1) 地域を担う人材の育成 (2) 教育の充実
5. 協働により、みらいをひらく。	【目標の概要】 (1) 新しい時代の行財政運営 (2) 住民参加の推進

新しい町の羅針盤を策定

平成29年4月より
今後10年間のまちづくりの指針となる
第七次猪苗代町振興計画がスタートしました

振興計画の位置づけ

振興計画は、本町の長期的なまちづくりの方向性を示すもので、町の最上位計画に位置づけられます。町では、昭和44年の「第一次猪苗代町振興計画」から6回にわたって計画を策定し、これらの計画に基づき総合的な行政運営を行ってきました。

平成19年度から実施してきた「第六次猪苗代町振興計画」が、平成28年度に期間満了を迎えるにあたり、前計画の理念を継承しつつ、社会情勢の変化などの外的要因や人口減少などの内的要因の検証を行い、今後の10年間のまちづくりを進めるため、「第七次猪苗代町振興計画」を策定しました。

また、本計画は、平成28年3月に策定した「猪苗代町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を踏まえ、内容の整合性を図っています。

計画策定の背景

前計画では、基本理念を「豊かな自然とすべての命を大切に
する活気あるまちづくり」とし、町の将来像を「人が、自然が、歴史と文化が、そして未来が輝く猪苗代」として掲げ、計画の実現を進めてきました。
これまでの振興計画策定にあたっては、地方自治法により市町村に議会の議決が定められていましたが、平成23年の「地方自治法の一部を改正する法律」

により基本構想の策定義務がなくなりしました。これと同時に、総務大臣通知により、地方自治法第96条第2項の規定に基づき、各市町村がその自主的な判断によって引き続き現行の基本構想について議会の議決を経て策定することは可能であると示されました。

本町においては、長期的なまちづくりの方向性を示すため、引き続き振興計画を策定するものとし、町民ワークショップ（い
なわしろみらい会議）や猪苗代町振興計画審議会などにより町民の意見を取り入れ、町議会での議論、議決を経て本計画を策定しています。

まちづくりの基本理念

まちづくりの基本理念は「ともに地域を育て、みんなが心地よく暮らせるまち 猪苗代」です。

少子高齢化と人口減少が同時に進行するなか、町では、行政と町民の協働や町民による地域資源の再発見・活用に向けた動きが進んでおり、自らをまちづくりの担い手として地域をともに育てるという意識が高まっています。

今後も、町民一人一人が手を取り、立ち向かうべきさまざま

な課題を解決するため、自然や産業、未来を担う人材などをもに育てる取り組みを進めます。さらに、まちの将来について考え、自由に意見交換を行える場づくりを進めることで、多様化するニーズを的確に把握し、施策に反映していくための体制づくりを推進します。

これらの取り組みにより、あらゆる年代・立場の人たちが、「猪苗代町に住んでみたい」「いつまでも住み続けたい」という希望を持ち、猪苗代町を訪れる人たちも充実して過ごせるようなまちを目指します。その中で、町民同士、町民と来訪者、生産者と消費者などのつながりを深め、人と人、人とまちへ広がる多様な関係性を築くことで、さらに地域の魅力を輝かせ、みんなが心地よく暮らせるまちをつくります。



いなわしろみらい会議の様子

5つの基本目標

基本理念を実現するための
5つの基本目標について紹介します。

①安全・安心を肌で感じる。

町民生活の基本的条件は、安全・安心です。安全・安心を感じ、るためには、基盤となる生活環境・交通の整備、子育て支援の充実、災害予防と災害対応の強化、福祉サービスの充実と心身の健康が求められます。社会情勢の変化が激しい時代に、この目標を掲げることで、その価値を見直し、町民生活の基盤を強固なものにすることで、安全・安心を肌で感じることのできるまちを目指します。

【具体的な施策の例】

●魅力ある都市づくり

○快適な市街地形成と賑わいのある商店街の実現を図り、都市計画道路や亀ヶ城周辺整備事業と連携した街路網を整備するなど、日常生活に密着した生活空間を創造します。

●公共交通機関の利用促進

○町民の買い物や通院などにおける利便性向上のため、引き続き

きデマンド型乗り合いタクシーを運行し、交通空白地域の解消を図ります。



交通空白地域を解消するためのデマンド型乗り合いタクシー

●防災拠点施設等の整備

○防災拠点施設やヘリポートを整備するとともに、災害対応用備蓄物資の充実を図ります。

●子育ての支援

○安心して妊娠、出産するための対応や育児に対する不安を軽減するため、乳幼児家庭全戸訪問に努めます。

●介護予防事業の推進

○介護予防や運動の必要性について周知するとともに、住民主体による通いの場づくりを推進します。

②豊かな自然を活かきる。

本町は、自然豊かなまちです。この自然を活かし、農業や観光をはじめとするさまざまな産業が息づいてきました。少子高齢化と人口減少が進行する現代においては、磐梯山・猪苗代湖・広い田園地帯に代表される自然を保全しつつ、農業・商業・工業・観光産業の振興やまちづくりのために、これまで以上に本町の豊かな自然資源を活用する知恵と実行力が必要です。豊かな自然を産業の振興などへ「活かしきる」仕組みづくりの構築を目指します。

【具体的な施策の例】

●地域資源を活用した観光振興

○地域資源の活用や新たな観光資源の開発を進め、町内の観光施設や飲食店などへの集客を図ります。

○日本遺産を活用した新たな観光資源の開発を進め、地域経済の活性化を図ります。

●インバウンド対策の充実

○東京オリンピック、パラリンピックの開催を見据え、震災後低迷している外国人旅行者の回復を図り、地域経済の活性化に

つなげます。

●担い手育成・地域営農生産活動の推進

○新たに就農する就農者を認定新規就農者として認定し、就農相談活動を行い、農業生産の担い手の育成・支援を推進します。

●農産物のブランド化・6次産業化

○猪苗代の気候に合った品種の導入を図り、「いなわしろブランド」を創出して高付加価値化を目指します。

○認定農畜産物や産品・加工品・メニューなどの開発を推進し、町内産農畜産物等の消費量増加や高付加価値化を図ります。

○農産物に精通した人材を育成するとともに、ふるさと納税や食味向上など、「米（いなわしろ天のつぶ）」や「そば（いなわしろ天の香）」を始めとしたブランド化・競争力の強化を推進します。



いなわしろ天のつぶ

③いつまでも猪苗代に暮らす。

本町における移住・定住を促進するためには、誰もが住みたいと思える魅力的な暮らしを実現することが重要です。例えば、本町では平日は磐梯山を眺め通勤・通学ができ、休日は豊かな自然を活かしたレジャーを楽しむことができます。食や文化に代表される町の地域資源を活かし、誰にとっても魅力を感じられる暮らしを実現するため、生涯学習や地域文化の交流などを推進し、いつまでも猪苗代に暮らす人の増加を目指します。

【具体的な施策の例】

●魅力的なライフスタイルの実現

○平日は郡山市・会津若松市等へ通勤し、休日は自然・温泉・スポーツなどを楽しむ魅力的なライフスタイルをPRします。

●学習機会と情報の提供

○町民がいつでも、どこでも、誰でも、何でも学習できる環境と機会を提供していきます。

●生涯学習活動の普及充実

○生涯学習の推進を総合的かつ計画的に実施するため、猪苗代

町生涯学習推進計画を策定します。

○大学などの学部、学科、ゼミなどの機能の誘致を目指し、猪苗代町ならではの学びの機会を提供するとともに、大学等との連携を図ります。

●町民を対象にした各種大会等の充実

○恒例のスポーツイベントとなった町民健康マラソン大会、町民球技大会、町民大運動会、ニュースポーツフェスティバルを参加者の体力などに柔軟に対応しながら、引き続き実施します。



町民運動会

④人をつくる。そして、まちをつくる。

まちづくりは、人づくりです。そして、人がまちをつくりまします。人づくりのためには、これまで

取り組んできた教育を充実させる一方で、民間団体などとともにさまざまな主体との連携による学びが求められます。本町で取り組んでいる学びを内外に発信し、人材の育成を行うことで、まちを活性化させます。教育を通じ、本町の未来を担う人材の輩出を目指します。

【具体的な施策の例】

●学校等との連携

○幼児教育から成人教育までの町ならではの一貫した教育モデルを構築するため、東京学芸大学と地域連携し、教育の充実および発展を推進します。



東京学芸大学との連携

●国際理解を深める事業の充実と人材育成

○東京オリンピック・パラリンピックでは、ガーナ共和国のホストタウンとなっていることを踏まえ、町国際交流協会等と連携し、町民主体で多様な交流に

発展できるよう、育成強化に努めます。

⑤協働により、みらいをひらく。

未来あるまちづくりのためには、これまで唱えられてきた官民連携だけではなく、民間同士といった多様な連携が必要となります。官民・民民の連携の輪を広げることが、住民参加を推進させ、結果としてまち全体の協働へとつながります。協働を突破口とし、行財政運営などの課題にあたることで、持続可能な未来あるまちづくりの一層の推進を目指します。

【具体的な施策の例】

●協働による開かれたまちづくりの推進

○ワークショップや意見交換会を活発に行い、誰もが積極的に関わり、まちづくりを考える場づくりを進め、開かれた町政の推進を図ります。

○「町政出前講座」を開催して、地域住民の意見・要望を把握し、広聴活動の充実に努めます。

※「第七次猪苗代町振興計画」は、町ホームページでご覧になれます。



【Voice】

協働により地域を活性化
町を元気に

かずたか
西村 和貴さん

中の沢



【Voice】

安心して暮らせる
まちづくりを

かずし
鈴木 一史さん

川桁

町商工会青年部では、「いなわしろ軽便ウオーク～懐かしの沼尻軽便鉄道を訪ねて～」を毎年開催してきました。沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会事務局の安部なかせさんと「町の大切な遺産を活用しながら、少しでも活気ある元気な町にしたいですね」と話し合っています。

私は、「いなわしろみらい会議」に参加したときに初めて、第六次猪苗代町振興計画のことを知りました。ワークショップの中で、参加メンバーと10年先の未来について話し合いました。人口減少が急速に進んでいるという課題に直面していることを思い知らされました。マンパワーが弱まると、さまざまなことに影響が出てくるのが予想されます。そのためにも、住民同士や住民と行政が協力してまちづくりを進める「協働」が重要になってくると思います。商工会青年部としても、観音寺川桜並木のライトアップなどを実施して、地域の活性化につなげられるよう取り組んでいきたいです。

「安全・安心を肌で感じるまちづくり」の一つとして、消防団の存在が挙げられると思います。私が所属している町消防団5分団では、日ごろの予防消防に加え、毎年開催されているポンプ操法大会にも熱心に取り組んでいます。しかしポンプ操法の練習など、負担に感じることもあります。そこで、大会に向けて、選手だけでなく分団全体で雰囲気盛り上げるため、団員同士の日ごろの会話を大切にするように心がけています。

6年前の東日本大震災発生当時、私は配達の仕事のため、翁島地区をトラックで走行していました。近くに一人暮らしの高齢者世帯があるのを思い出し、「婆ちゃん、大丈夫だったがよ」と声掛けをしたところ、不安そうな表情でしたが「大丈夫だよ、ありがとう」と返事が返ってきました。

何気ない普段の会話や声掛けが、安心して暮らせるまちづくりの第一歩になるのかもしれない。

あらゆる世代の方々が「猪苗代に住んでみたい」、「いつまでも猪苗代に住み続けたい」という希望が持てるまちづくりを目指します。

山と湖が織りなす雄大で美しい自然に囲まれた本町では、古くから農林業が盛んに営まれ、生活の礎が築かれてきました。近年においては、スキー場をはじめとするレジャー施設が整備され、「農業と観光のまち」として発展してまいりました。

また本町は、世界的に有名な「野口英世博士」の生家記念館、会津藩主松平家初代の保科正之公を祀る土津神社、亀ヶ城の雅称で親しまれている猪苗代城跡など多くの名所旧跡を有する歴史と文化のまちとしても広く知られています。

しかしながら、本町においても全国の例と同様に、少子高齢化・人口減少が進んでおり、今後この傾向が続くと予測され、地域の産業や経済に与える影響が懸念されることです。

このような状況のなか、現在の『第六次猪苗代町振興計画』



前後 公 猪苗代町長

が目標年次を迎えるため、平成29年4月から新しくスタートする『第七次猪苗代町振興計画』を策定いたしました。『第七次猪苗代町振興計画』では、『ともに地域を育て、みんなが心地よく暮らせるまち 猪苗代』を基本理念として、これから10年間のまちづくりを進めてまいります。

あらゆる世代の方々が「猪苗代に住んでみたい」、「いつまでも猪苗代に住み続けたい」という希望が持てるまちづくり、さらには猪苗代を訪れる方々が充実した時間を過ごせるような魅力あるまちづくりを目指してまいります。

そのためには、行政だけでなく、町民と行政がともに地域を育て、協働によりまちをつくることが重要であると考えておりますので、今後とも皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

町民の皆さんから寄せられたご意見 ～パブリックコメントを紹介します～

町では、第七次猪苗代町振興計画(案)に対する町民の皆さんからのご意見(パブリックコメント)を募集しました。頂いたご意見に対する町の考え方は次のとおりです。

●募集期間 平成29年2月6日(月)～2月17日(金)

●ご意見の総数 5件

	ご意見の趣旨	町の考え方
1	道の駅を拠点とした観光のモデルケースとして案内板などを設置し、PRを行ってほしい。	基本計画第2章2-1「(2)道の駅を拠点としたまちづくりの推進」にとりまとめたように、道の駅とまちなかの観光ポイントの連携を強化し、観光周遊の推進を図ります。
2	日本遺産の登録もあり、個人・団体が観光を希望する場合の対応やPRのため、案内説明文などの設置を希望する。	観光案内の具体的な手法について、実施計画を策定する際の参考とさせていただき、実現性について検討します。
3	緑豊かで心身ともに健康なまちを目指し、少ない本数から苗木が手に入る環境を整え、家庭での植樹や駅前の緑化、建築材の植林などを推進してはどうか。	基本計画第3章3-1「(1)緑の創造」にとりまとめたように、全町的な緑化活動の展開、花と緑のあふれた住環境の形成に基づき、具体的な緑化の推進手法について、実施計画を策定する際の参考とさせていただきます。
4	町内の周遊、移動について、歩道や自転車専用道路を整備し、散策やランニングを安全に行えるようにしていただきたい。 観光客向けの移動手段(自転車の貸し出しやコース別のマイクロバス)や車での移動が難しい高齢者に必要な移動手段、また食材の移動販売などについて検討してはどうか。	基本計画第1章1-1「(2)道路・交通の再構築」において、道路の安全性・利便性の向上を図るため、歩道の確保などについて実施計画を策定する際に内容を検討します。 成果目標としてレンタサイクルの利用者数増加を掲げながら、デマンド型乗合タクシーの運行を継続し、人口減少社会の実情に合わせた適切な移動手段の確保について今後の計画で検討します。
5	廃校をスポーツ合宿の場や専門学校・分校として利活用するなど、まちに若者が戻ってくるきっかけや人材を育てて、まちを活性化する場として活用していけたらよい。また、まちのさまざまな人材が活躍できる場として、学びいなりや和みいなりを提供していただきたい。	基本計画第5章5-1「(2)効率的な行財政運営」でとりまとめたように、廃校の利活用については、町民の皆様のニーズを把握しながら引き続き検討します。 基本計画第3章3-3「生涯学習の推進」において、さまざまな世代を対象とした活動の促進、生涯学習人材バンクを利用した活動の機会充実を図ります。

■平成 29 年度予算

一般会計予算

総額 78 億円

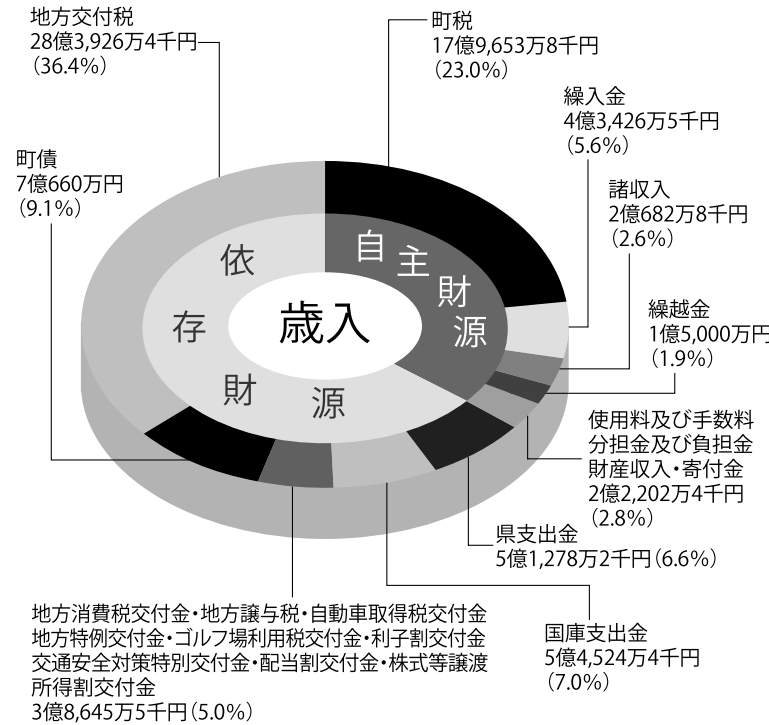
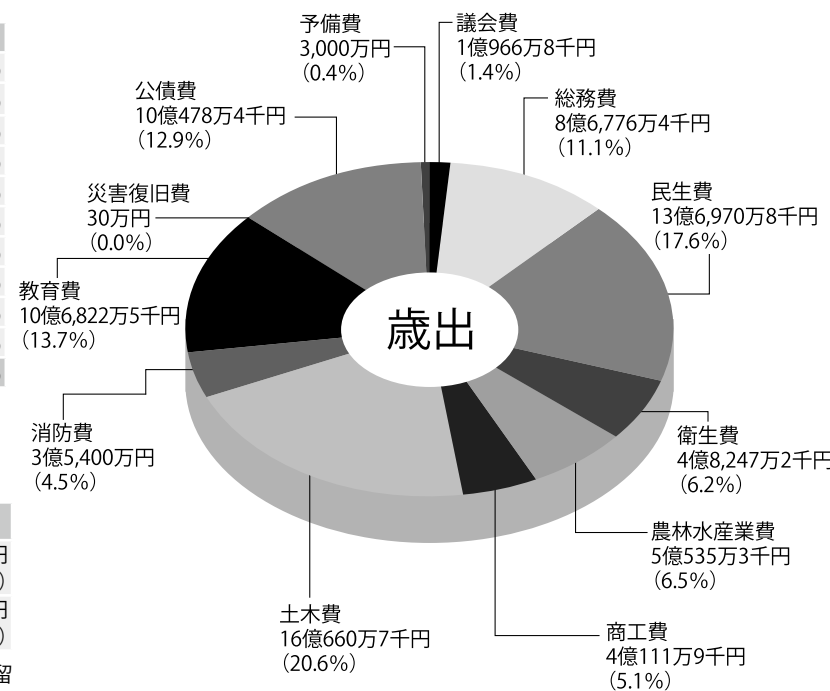
特別会計予算

会 計 名	予 算 額	対前年度比
猪 苗 代 地 区 財 産 区	926 万 1 千円	8.2%
翁 島 地 区 財 産 区	221 万 5 千円	△ 0.3%
長 瀬 地 区 財 産 区	1,204 万 4 千円	0.3%
吾 妻 地 区 財 産 区	831 万 3 千円	△ 1.7%
国 民 健 康 保 険	19 億 2,710 万円	△ 0.7%
後 期 高 齢 者 医 療	1 億 6,619 万 7 千円	0.6%
介 護 保 険	16 億 8,869 万 8 千円	8.6%
下 水 道 事 業	5 億 760 万 4 千円	△ 12.1%
特定環境保全下水道事業	1 億 6,316 万 4 千円	34.0%
農 業 集 落 排 水 事 業	1 億 6,312 万 3 千円	6.4%
合 計	46 億 4,771 万 9 千円	2.3%

水道事業会計予算

区 分	予 算 額	区 分	予 算 額
収 入	3 億 7,669 万 8 千円 (対前年度比△ 1.3%)	資 本 的 収 入	4,845 万 4 千円 (対前年度比△ 36.5%)
益 的 支 出	3 億 4,663 万 2 千円 (対前年度比 1.2%)	資 本 的 支 出	1 億 9,473 万 7 千円 (対前年度比 5.0%)

※資本的収支の不足額 1 億 4,628 万 3 千円は、当年度損益勘定留保資金から補てんします。



町税の内訳

区 分	予 算 額	町民 1 人あたり
町 民 税	5 億 7,830 万円	38,930 円
固 定 資 産 税	10 億 1,481 万 4 千円	68,314 円
軽 自 動 車 税	4,471 万 5 千円	3,010 円
町 た ば こ 税	1 億 2,095 万 1 千円	8,142 円
入 湯 税	3,774 万 8 千円	2,541 円

町民 1 人あたりの町税負担額合計	120,937 円
-------------------	-----------

町民 1 人あたりの予算（一般会計）	525,075 円
--------------------	-----------

※町民 1 人あたりの税額および予算額は、平成 29 年 2 月末現在の人口をもとに算出しています。

病院事業会計予算

区 分	予 算 額	区 分	予 算 額
収 入	7,379 万 9 千円 (対前年度比△ 9.1%)	資 本 的 収 入	5,766 万 7 千円 (対前年度比 4.0%)
益 的 支 出	7,379 万 7 千円 (対前年度比△ 9.2%)	資 本 的 支 出	5,784 万 3 千円 (対前年度比 4.3%)

※資本的収支の不足額 17 万 6 千円は、基金から補てんします。

一般会計

歳入

歳入は大きく「自主財源」と「依存財源」の二つに分けられます。

「自主財源」とは、町が自主的に確保することができる財源のことです。町の主要な財源の一つである町税をはじめとして、使用料、手数料、分担金、負担金や財産収入などが挙げられます。

一般会計の自主財源の合計は 28 億 9 653 万 5 千円で、歳入全体の 36・0 % となりました。自主財源のうち、主要な財源の一つである町税は、17 億 9 653 万 8 千円（前年度比 4 4 2 3 万 6 千円の減）で、歳入全体の 23・0 % を占めています（内訳は上の表のとおり）。このほか、財政調

一般会計

歳出

歳出では、一つ一つの事務事業について効果や成果を検証し、経費の節減・事務の合理化を進める一方、緊急性などの優先順位をつけて重点施策を選別して編成しました。

歳出全体の 20・6 % を占める土木費は、町道や町営住宅の整備・管理、除雪などに使われる費用で、この中には道の駅整備事業なども含まれており、16 億 6 60 万 7 千円（前年度比 2 億 5 93 万 1 千円の減）となっています。

これに続くのが、社会福祉や児童福祉などに使われる民生費です。全体の 17・6 % で、13 億 6 970 万 8 千円（前年度比 1 3 10 万 6 千円の増）です。その次に続くのが、こども園、小・中学校、生涯学習やスポーツ振興などに使われる教育費で全体の 13・7 %、10 億 6 822 万 5 千円（前年度比 5 630 万 7 千円の増）。

以下、借入金償還のための公債費が全体の 12・9 %、

平成 29 年度一般会計当初予算の総額は、78 億円です。前年度に比べ 4 億 3 600 万円（5・3 %）の減少となりました。予算編成にあたり、限られた財源を効率的に配分し、第七次猪苗代町振興計画の実現に向けたさまざまな施策に重点をおいた予算としました。

平成 29 年度予算のあらましについてお知らせします。

「依存財源」とは、国や県から交付される財源のことです。地方交付税、国庫支出金、県支出金、町債などが挙げられます。

依存財源の合計は、49 億 9 034 万 5 千円で、歳入全体の 64・0 % となりました。歳入の 36・4 % を占める地方交付税が 28 億 3 926 万 4 千円（前年度比 2 997 万 9 千円の減）。次いで 9・1 % を占めるのが町債で、道の駅整備事業などを見込み 7 億 6 60 万円（3 億 2 210 万円の減）となりました。

町債の借り入れにあたっては、交付税措置のある有利なものを選ぶなど、負担の軽減に努めました。

10 億 4 78 万 4 千円（前年度比 9 407 万 7 千円の減）。

その他、総務費は、8 億 6 776 万 4 千円（前年度比 5 424 万 3 千円の減）。農林水産業費は、5 億 535 万 3 千円（前年度比 8 283 万円の減）。衛生費は、4 億 824 万 2 千円（前年度比 1 875 万 6 千円の減）。商工費は、4 億 111 万 9 千円（前年度比 1 953 万 7 千円の減）。消防費は、3 億 5 400 万円（前年度比 1 億 6 469 万 6 千円の減）。議会費は、1 億 9 66 万 8 千円（前年度比 47 万 3 千円の減）となりました。

平成 29 年度の主な事業

本年度中に実施する主な事業を紹介します。

- ▽道の駅整備事業（ヘリポート） 1 億 237 万 0 千円
- ▽駅前広場再整備事業 2 億 100 万 0 千円
- ▽統合中学校整備事業（プロポータル） 1 30 万円
- ▽全国高等学校総合体育大会（空手道競技負担金） 750 万円
- ▽陸上競技場公認更新改修事業 1 355 万円



吾妻中学校 (3月13日)

写真特集 卒業・卒園

猪苗代高校 (3月1日)



さくらこども園 (3月17日)

3月、町内の小・中学校、高校やこども園で卒業式や卒園式が行われました。
当日の様子を写真で紹介します

千里小学校 (3月23日)





戸田局長(左)から感謝状を受けた江花さん(中央)

自然保護活動の功績をたたえ

江花俊和さんに知事感謝状伝達

県自然保護指導員の江花俊和さん(葉山)への永年勤続知事感謝状伝達式は3月2日、町役場で行われました。県会津地方振興局の戸田光昭局長が江花さんに感謝状を手渡しました。江花さんは平成18年4月から長年にわたり県指導保護指導員として磐梯朝日国立公園磐梯山地域の自然保護に尽力してきました。江花さんは「今後も登山者の安全啓発と自然保護に努めたいです」と話しました。

選挙の仕組みを学ぶ

猪苗代養護学校で選挙について学習

猪苗代養護学校高等部は2月28日、「職業」の授業で選挙に関する学習会を開きました。

学習会では、町総務課の渡辺健一主査が講師を務め、生徒たちに選挙に参加する意義や選挙の仕組み、選挙権年齢が18歳に引き下げられた理由などを説明しました。生徒たちは、生徒会の役員選挙の様子などを振り返りながら、積極的に質問をしたり熱心にメモを取ったりしていました。



選挙について学習する授業風景

食を通じて地域を盛り上げる

第1回いなラボフォーラム

第1回いなラボフォーラム「食から“みる”猪苗代」は3月12日、道の駅猪苗代で開かれました。則藤孝志福島大学准教授が「食と農で猪苗代を盛り上げる大作戦」と題し講演。道の駅を拠点とした地域づくりを提案しました。パネルディスカッションでは、町食生活改善推進員の星久子会長、郷土料理講師の安部なかさん、はじまりの美術館の小林竜也さんが食を通じて、町の魅力を語り合いました。



フォーラムで講演する則藤准教授

自衛隊入隊予定者を激励

町自衛隊協力会激励会

町内の自衛隊入隊予定者の激励会は3月10日、町役場で開かれました。町自衛隊協力会会長の前後公町長が、平成29年度入隊予定の大塚翔流さん(半坂＝喜多方桐桜高卒)に激励金を手渡しました。前後町長は「災害派遣など自衛隊の活動の場は広がっている。健康に留意して頑張ってください」と激励。大塚さんは「部活動の陸上競技で培った経験を生かし、地域を守るよう頑張ります」と抱負を述べました。



左から前後町長、大塚さん、宇月晴彦副会長



勇壮な舞を披露する西久保彼岸獅子

伝統の舞、堂々と

西久保彼岸獅子

春の訪れを告げる町指定重要無形民族文化財「西久保彼岸獅子」は3月20日、西久保公民館で披露されました。太夫獅子、雄獅子、雌獅子の3体が笛と太鼓のお囃子に合わせて勇壮な舞を披露し、会場を訪れた観客を魅了しました。

西久保彼岸獅子は、住民の無病息災などを祈って奉納され、100年以上の歴史を持っています。現在は、西久保彼岸獅子保存会が春彼岸の中日に伝統の舞を披露しています。

15年ぶりに改定

新たな磐梯山火山ハザードマップを発表

磐梯山周辺市町村でつくる磐梯山火山防災連絡協議会は3月22日、町役場で開かれ、15年ぶりに改定した磐梯山火山ハザードマップを発表しました。国のガイドラインに沿った磐梯山噴火緊急減災対策砂防計画に基づき、過去1万年間の噴火を踏まえた最大の被害想定を盛り込みました。マグマ噴火と水蒸気噴火、小規模水蒸気噴火の三形態を想定した内容となっています。新しいハザードマップは、町ホームページから見るができます。



新たなハザードマップを発表する前後公町長(右から2人目)

土津神社の歴史に触れる

「歴史講演あしながてなが」を開催

会津藩主松平家墓所保存整備事業完成記念「歴史講演あしながてなが」は3月18日、学びいなで開かれました。町では、平成17年度より実施してきた会津藩主松平家墓所保存整備事業が完了したことから、講演会を開催。猪苗代の偉人を考える会の江花俊和会長が「保科正之公について」と題し、正之公の生い立ちや功績について紹介しました。また、町生涯学習課職員が土津神社に関する講演を行いました。



保科正之公について講演する江花会長(右)

大震災犠牲者の冥福を祈り

東日本大震災物故者慰霊、復興祈願法要

東日本大震災物故者慰霊、復興祈願法要は3月11日、亀ヶ城跡の鐘楼堂で執り行われ、東日本大震災の犠牲者を弔うとともに震災からの復興と原発事故の収束を祈願しました。

法要には長照寺住職で町仏教会会長の楠俊道住職をはじめ、町内の各寺の住職や檀家代表ら約30人が参列しました。僧侶らによる読経の後、参列者は御詠歌を歌い、東日本大震災の犠牲者の冥福と震災からの復興を祈りながら鐘を打ち鳴らしました。



犠牲者の冥福を祈り鐘を突く参列者

平成 27 年度 町有施設の温室効果ガス（二酸化炭素） 排出量を公表します

町では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」の規定により、市町村に策定が義務付けられている温室効果ガスの排出量削減のための措置に関する計画として、平成 28 年 4 月より「第 2 次猪苗代町地球温暖化対策実行計画」（以下「実行計画という。）を施行しました。

「実行計画」では、平成 26 年度を基準年度とし、計画期間の最終年度である平成 31 年度の二酸化炭素排出量を基準年度と比較して 3.8％削減することを目標としています。

企画財務課 企画調整係 ☎(62) 2112

【対象施設】

役場庁舎・水防センター・地域農業活性化センター・農村環境改善センター・優良堆肥製造施設・水道施設・下水道施設・小学校・中学校・保育所・こども園・幼稚園・体験交流館・図書歴史情報館・むかし体験館・地域福祉交流センター

※総合体育館など指定管理者制度により外部委託している町施設は対象外としています。指定管理者には可能な限り「実行計画」の趣旨に沿った取り組みを実践するように要請しています。

種類別の使用量と二酸化炭素排出量

種 類	H26 使用量 (基準年度)	H27 使用量	H26 排出量 (kg-CO ₂)	H27 排出量 (kg-CO ₂)	比較 (%)
ガソリン	36,567 ℓ	36,119 ℓ	84,895	83,856	△ 1.23
灯 油	167,469 ℓ	117,845 ℓ	416,911	293,373	△ 29.63
軽 油	142,616 ℓ	55,471 ℓ	368,659	143,391	△ 61.10
A 重油	2,000 ℓ	0 ℓ	5,419	0	△ 100.00
液化石油ガス (LPG)	7,411 kg	6,821 kg	22,225	20,455	△ 7.96
電気使用量	3,875,832 kwh	3,756,176 kwh	2,151,088	2,084,679	△ 3.09
合 計			3,049,197	2,625,754	△ 13.89

種類別の二酸化炭素排出量増減の主な要因

種類	増減率 (%)	主な要因
軽油	△ 61.10	除雪車（建設課）の大幅な使用減
電気使用料	△ 3.09	照明、空調などの適正管理による使用減
ガソリン	△ 1.23	エコドライブ推進による使用減
灯油	△ 29.63	「こども園・保育所」「小学校」「中学校」での大幅な使用減
液化石油ガス (L P G)	△ 7.96	「小学校」「中学校」での使用減
A 重油	△ 100.00	地中熱ヒートポンプ冷暖房システム利用による減

減少の主な要因は、暖冬により小中学校での灯油使用量が減少したことや、降雪量減少により除雪車の稼働が少なかったことが挙げられます。

今後も各施設において、照明、空調などの適正な管理や公用車エコドライブの推進、再生可能エネルギーの導入などに取り組み、目標達成に向けて計画の推進に努めていきます。

笑顔でこんにちは



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ！」

陽翠ちゃんの名前には、「明るく、健やかに育ってほしい」というパパとママの願いが込められています。

小 椋 陽 翠 ちゃん

平成 27 年 2 月生まれ
～半坂
祐輔さん・香織さんご夫妻の長女

フルーツが大好きな陽翠ちゃん。特にいちごが大好きで「自分で冷蔵庫を開けて食べようとするんです」とママの香織さんは笑顔で話します。

普段はひまわりこども園に通園している陽翠ちゃん。パパの祐輔さんと香織さんは、夜勤があることから、お婆ちゃんと一緒に過ごすこともあるそうです。お婆ちゃんが働く美容室に付いていくと、箒とちり取りを使って床掃除のお手伝いをすることもあるんだとか。パパとママにも「シャンプーします！」と美容師さんのまね事を披露するそうです。

祐輔さんは「最近はおくさん言葉を覚えて、大人のまねをよくしています。大きくなったなら、周囲に気を配ることができるようになってほしいです」と話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62) 2111

はじまりの美術館企画展



圧倒的な存在感を放つ岡元俊雄さんの作品



鮮やかに彩られた小林覚さんの作品



生演奏に合わせて実施されたライブペインティング

はじまりの美術館の企画展「ロックとアートの蜜月な日々」は 3 月 4 日から 20 日まで同館で開かれました。企画展は、NPO 法人ハイテンションの主催、同館の共催。ロックを感じさせる表現や、音楽・楽器をテーマに制作された作品を展示しました。

19 日には、ロックバンド「サルサガムテープ」による演奏や画家の小澄源太さんによるライブペインティングなどが行われました。

「ロックとアートの蜜月な日々」

はじまりの美術館企画展

意見箱



町民意見箱に
寄せられた
ご意見と回答

●地域福祉センターへの道が分かりにくい

【ご意見】

地域福祉交流センターへの道が分かりにくく、特に町外からの人が迷ってしまいます。

地域福祉交流センターと猪苗代中学校の看板(案内表示)があれば良いと思います。笠間建材店やパナレイクなどのあたりに設置してあると良いと思います。

【回答】

地域福祉交流センターは、旧県立病院を大規模改修し、平成27年度より供用開始している施設で、町社会福祉協議会やシルバー人材センターなど7団体が入居しています。また、調理実習室や会議室などの貸出しも行っております。

今回ご指摘いただきました案内看板につきましては、今後予定されている中学校の統合事業なども視野に入れながら設置などについて検討していくとともに、ホームページや広報紙などに

で随時情報発信を行い、地域福祉交流センターのPRに努めます。

町社会福祉協議会
社会福祉係
☎(62)2115



地域福祉交流センター案内図

●カメラの防犯設備について

【ご意見】

カメラの設置されていないため、未成年者の喫煙や飲酒、性犯罪の発生のほか、トレーニングルーム単独利用時の体調不良者の未発見などが懸念されます。

また、トレーニングルームを利用している人が、更衣室を利用せずにその場で着替えをしていたこともあり、対応が必要ではないでしょうか。

【回答】

カメラの設置については、3月にトレーニングルームに1台設置したところであり、防犯や利用者の体調

不良などの早期発見に努めます。

今後多くの皆さんに気持ち良く利用していただくため、スタッフによる巡回の回数を増やして館内の監視の強化を図るとともに、利用上の注意事項の掲示を増やし、さらに注意喚起を図りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

町生涯学習課 社会体育係
☎(72)0180

皆さんの建設的なご意見をお寄せください

町は、町民の皆さんとの協働によるまちづくりを進めるため、ご意見やご提案をお寄せいただく町民意見箱「ご意見箱」を設置しています。より良いまちづくりのため、皆さんの建設的なご意見をお寄せください。

▼設置場所

役場庁舎、カメラナ、学びいな、和みいな(郵送やFAXでも受け付けます)

▼回答方法 広報猪苗代で回答

▼記入にあたってのお願い

・ご意見は内容の趣旨がわかるように、具体的に記入いただくようお願いいたします。

・他人を誹謗、中傷するものや営業、宗教、政治活動などに関するものはご遠慮ください。

・氏名、住所および連絡先をご

記入ください。

※頂いたご意見の内容によっては、確認のためご連絡させていただきます。ご了承ください。なお、広報で回答する際には、氏名を伏せて掲載します。

▼送付・問い合わせ先

総務課 秘書広報係
☎(62)2111
FAX(62)5175

子育て

ちびっこランドで
楽しく遊びませんか？

町では、親子の遊びの教室「ちびっこランド」を前期と後期の2回に分けて開催しています。今回は、前期の参加者を募集します。

音楽に合わせて踊ったり、思い切り体を動かしたり、季節に合わせた遊びなどを行っています。近所に同世代の子どもが少ない、転入したばかり、母親同士の情報交換がしたいという人は、ぜひご参加ください。

▼対象

町内在住の2歳から4歳までの子どもと保護者 20組(※以前参加したことがある人は除きま

す)

▼開催日

5月30日(火)・6月20日(火)・7月25日(火)・8月29日(火)・9月26日(火)の全5回

▼時間 午前10時から正午まで

▼会場

町農村環境改善センター

▼申込締め切り日

5月12日(金)

※定員になり次第、締め切りします。

▼申し込み方法

電話でお申し込みください。

▼申し込み・問い合わせ先

保健福祉課 健康づくり係
☎(62)2115

給付金

「未来への投資を実現する経済対策」臨時福祉給付金の申請はお済みですか

町では、「未来への投資を実現する経済対策」臨時福祉給付金の申請受け付けを行っています。

申請期間は平成29年5月29日までです。申請期間を過ぎると給付金を受け取ることができませんので、ご注意ください。

なお、給付対象者となる可能

性のある人には、すでに案内と申請書を郵送しています。

▼支給対象者

平成28年度に支給した猪苗代町臨時福祉給付金の要件に該当した人が対象です。(平成28年9月1日から12月1日まで受け付け)

※ただし、課税されている人に生活の面倒を見てもらっている場合(住民税において、どなたかの扶養となっているなど)や生活保護の受給者である場合などは、対象となりません。

▼支給額

対象者1人につき1万5千円

▼申請先 保健福祉課

▼申請受付期間

2月27日(月)～5月29日(月)

▼提出書類

申請書ほか(身分証明書・振込口座の写しなど)

▼問い合わせ先

保健福祉課 社会福祉係
☎(62)2115

▼ご注意ください！

「未来への投資を実現する経済対策」臨時福祉給付金を装った不審な電話やメールなどが発生しています。

「未来への投資を実現する経済対策」臨時福祉給付金を支給するために、電話やメールで手続きをお願いすることや、手数料等の振込を求めることなどは

補助金

住宅用太陽光発電システムに補助金を交付

絶対ありません。

もし、自宅や職場などに町や厚生労働省の職員などをかかった電話がかかってきた場合や訪問などがあつた場合は、迷わず町保健福祉課や警察署にご連絡ください。

町では、地球温暖化対策の観点から、再生可能エネルギーの導入と促進を図り、自然と共生するまちづくりの推進と循環型社会の構築を目指しています。

その一環として、住宅用太陽光発電システムを設置する人に對し、予算の範囲内で補助金を交付します。

▼補助対象要件

町内に住所のある人が居住している、または居住しようとする住宅(店舗併用住宅を含む)にシステムを設置する場合に、その設置に要する経費を補助します。

▼補助金額

1キロワット当たり1万5000円。※最大出力値が4キロワットを超える場合は、4キロワット(6万円)を上

相談

行政相談員に
相談してみませんか

行政相談委員が役所(国、県、市町村)や特殊法人(NTT、JRなど)の仕事についての相談に応じ、その解決のお手伝いをします。定例相談は毎月1回、第3水曜日に開催しています。お気軽にご相談ください。

▼開催日時

4月12日(水)、5月17日(水)午後1時から午後3時まで

▼場所 町役場3階 日本間

▼その他 相談無料・秘密厳守

総務課 秘書広報係

☎(62)2111

保健

高齢者肺炎球菌予防接種本年度対象者

高齢者が肺炎にかかる原因ともなる肺炎球菌。その感染や重症化を予防するのが高齢者肺炎球菌ワクチンです。

▼対象者

本年度の対象者は、左の表の年齢に該当する人のうち、今まで一度も肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことがない人です。

年齢	生年月日
65歳	昭和27年4月2日～ 昭和28年4月1日
70歳	昭和22年4月2日～ 昭和23年4月1日
75歳	昭和17年4月2日～ 昭和18年4月1日
80歳	昭和12年4月2日～ 昭和13年4月1日
85歳	昭和7年4月2日～ 昭和8年4月1日
90歳	昭和2年4月2日～ 昭和3年4月1日
95歳	大正11年4月2日～ 大正12年4月1日
100歳	大正6年4月2日～ 大正7年4月1日

▼料金 無料

▼助成期間 平成30年3月31日

石田俊明（町民生活課副課長兼国保年金係長）▼**佐藤智**（上下水道課主査）▼**白岩定好**（上下水道課主査）▼**長谷川礼子**（教育総務課猪苗代小学校主任調理師）▼**木下実**（農林課主任主査）

異動【4月1日付】

【課長相当職】

▼町民生活課長（議会事務局局長）**大嶋善一**▼議会事務局局長（会計室副課長兼会計係長）**渡部浩幸**

【課長補佐相当職】

▼税務課副主幹兼収納係長（農林課副主幹兼農業振興係長）**島影美江**▼会計室副主幹兼会計係長（総務課副主幹兼秘書広報係長）**兼田和子**▼町民生活課副課長兼国保年金係長（町民生活課主任主査兼町民係長）**小野木克政**▼保健福祉課副主幹（町民生活課副主幹）**本田由里子**▼保健福祉課主任主査（税務課主任主査）**佐藤すずい**

【係長職】

▼総務課秘書広報係長（教育総務課主査）**小林直美**▼町民生活課町民係長（農林課堆肥施設係長）**渡部克宏**▼農林課農業振興係長（農林課主査）**小坂橋敏弘**▼農林課堆肥施設係長（税務課収納係長）**近藤一彦**

まで

▼予診票

町内の医療機関においてあります。町外の医療機関で接種を希望する人は、保健福祉課窓口にお越しください。

▼その他

助成を受けられるのは、1人1回です。今回接種を受けた人は、今後助成を受けられません。

▼問い合わせ先

保健福祉課 健康づくり係
☎（62）2115

お願い

水道メーターの検針にご協力を

水道料金（下水道使用料）算出のため、毎月25日から翌月5日の間に検針員が水道メーターの検針に伺います。ただし、冬期間（1月分～4月分）は一部の地域を除き積雪により検針が困難であるため行っていないため、検針をスムーズに行うため、次のことにご協力をお願いします。

▼水道メーターが入っているメーターボックスの上には、物を置いたり車を駐車したりしないようにしてください。

▼メーターボックスの中に泥などが入らないよう、いつもきれいにしておいてください。

▼愛犬はメーターボックスや出入口付近から離してつないでください。

▼増改築などでメーターボックスが床下や屋内になってしまう場合は移設してください。

▼問い合わせ先

上下水道課 水道管理係
☎（62）5622

募集

食を学び楽しく健康づくり！食改さん募集！

食生活改善推進員は、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、食を通じてボランティア活動を行っています。町が開催する研修を受講すると、食生活改善推進員として活動することが出来ます。

研修では、健康の基本である「食」を中心に講義や調理実習などを通し、健康づくりについて楽しく学びます。

自分が動くことで誰かが健康になれる、素敵なやりがいのある活動です。まずは自分のために、そして家族、地域みんなの

育教諭（復職）**桑原朋子**

派遣【4月1日付】

▼総務課付西会津町派遣（農林課主査）**渡部亮**

新採用【4月1日付】

▼総務課主事 **長谷川聖司**▼税務課主事 **真渡智里**▼保健福祉課主事 **石田廉**▼農林課主事 **渡邊佳祐**▼農林課主事（北塩原村から派遣）**佐藤喬**▼子ども課ひまわり子ども園保育教諭 **鈴木綾乃**

掲示板

告示

・第2号「猪苗代町児童館指定管理者の公募に係る告示」（保健福祉課社会福祉係）
・第3号「猪苗代町議会臨時会の招集」（総務課行政管理係）
・第4号「抑留犬の公告」（町民生活課環境係）
・第5号「国民健康保険被保険者証再交付に係る無効告示」（町民生活課国保年金係）
・第6号「猪苗代町議会定例会

ために健康づくりの勉強をしてみませんか。

▼対象

町内在住の人（平日の日中研修会に参加できる人）

▼研修期間

平成29年5月～平成30年1月（月1回程度）

▼研修内容

健康づくりのための講義、調理実習、運動など

▼受講料 無料

▼申し込み方法

4月28日（金）までに電話で申し込んでください。

▼申し込み・問い合わせ先

保健福祉課 健康づくり係
☎（62）2115

人事



町職員人事異動

町職員が4月1日付で異動しました。（ ）内は旧職名。

退職【3月31日付】

▼**小林雅宏**（町民生活課長）▼

の招集（総務課行政管理係）

・第7号「未来への投資を実現する経済対策」臨時福祉給付金支給事業実施要綱（保健福祉課社会福祉係）
・第8号「固定資産税督促状の公示送達について」（税務課収納係）
・第9号「国民健康保険被保険者証再交付に係る無効告示」（町民生活課国保年金係）
・第10号「債権差押書の公示送達」（税務課収納係）

公告

・平成28年度第40号「農用地利用集積計画の公告」（農業委員会農地係）
・平成29年度第1号「平成29年1月分「農用地利用集積計画」（農業委員会農地係）

・第2号「農用地利用集積計画の取消」（農業委員会農地係）
・第3号「猪苗代町森林整備計画変更（案）」（農林課農林整備係）
・第4号「猪苗代農業振興地域整備計画変更」（農林課農業振興係）

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧ください。また、それぞれの担当課に問い合わせください。

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況(平成29年2月28日現在)

1 犯罪発生状況

町村別	年別	平成29年	平成28年	増減	増減率%
猪苗代町		7	6	1	16.7
磐梯町		0	5	-5	-100.0
裏磐梯		2	4	-2	-50.0
計		9	15	-6	-40.0

町村別	猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
罪種別	29年	28年	29年	28年	29年	28年
窃盗犯計	7	5		5	2	3
空き巣						
金庫破り						
事務所荒らし						
出店荒らし						
倉庫荒らし						
侵入盗その他				1		
置き引き	3					
車上ねらい						
部品ねらい		1				
脱衣場ねらい		1				
自販機ねらい						
万引き						
職場ねらい	1				1	
さい銭盗						
畑荒らし						
スキー・スノーボード盗	3	2		3	1	3
非侵入盗その他		1		1		
自動車盗						
オートバイ盗						
自転車盗						
その他の乗り物盗						
暴行・傷害						
詐欺・横領						
遺失物等横領						
器物損壊						1
その他の刑法犯		1				
総計	7	6	0	5	2	4
増減	1		-5		-2	

◎なりすまし詐欺に注意！家族や警察官、銀行職員などを装い、お金をだまし取る詐欺が増えています。話の中で、お金の手渡し・振り込みの指示があったときは、すぐに家族や知人が警察(110番)に相談してください。

2 交通事故状況

事故別	猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
	29年	28年	29年	28年	29年	28年
死亡事故	0	0	0	0	0	0
増 減	0		0		0	
人身事故	10	12	3	3	0	1
増 減	-2		-10		-1	

◎シートベルトには事故被害軽減に大きな効果があります。助手席、後部座席も着用しましょう。

催し

まきばのさくらロード
おかめの会さくら祭り

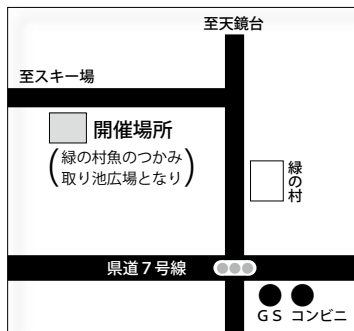
「振り向けば磐梯山、見下ろせば猪苗代湖」。会津一のビュースポットで、お花見をしませんか。

●日時 4月30日(日)

午前10時～午後3時

※雨天中止の場合あり

●場所 町営牧場内特設会場(緑の村魚つかみ取り池広場となり)



●イベント内容

▷こづゆ振る舞い▷お茶の野点▷猪苗代の歴史・観光ガイド▷太鼓演奏▷いなわしろ民話の会民話の語り▷フォークバンド演奏▷三村勝秀氏トランペット演奏▷会津猪舞連よさこい踊り▷えみプラスクールフラダンス▷キッズコーナー、絵付け体験など

●出店

▷野菜・漬け物、お花見団子など

●おかめの会 星久子(西ノ沢温泉たなべの湯)

☎(65)2533

就職支援

就職に向けて技能取得
職業訓練の受講生募集

ポリテクセンター会津では、ものづくり分野で早期に再就職を目指す求職者を対象とした職業訓練生を募集します。また、職業訓練について理解を深めていただくための施設見学会を開催します。

●募集コース 電気設備技術コース▷募集定員 10名

▷訓練期間 6月1日～11月30日(6カ月間)

●対象者 公共職業安定所に求職登録されている人で、職業訓練の受講が望ましいと判断された人

●受講料 無料(別途テキスト代が必要)

●募集期間 4月11日(火)～5月10日(水)

●選考日 5月17日(水) 午前9時～

【施設見学会】

●日時 4月10日、24日、5月8日、15日、22日、29日、6月5日、12日、19日、26日

いずれも午後1時30分～午後3時30分

●内容 今までのキャリア(職業能力)にプラスして、新たな技能習得のための職業訓練について理解していただく説明会で、当センターが実施しています。

●圃ポリテクセンター会津 訓練課

☎(26)0520

事業者

被災事業者の皆さんへ

経営改善や二重債務問題などで資金繰りに悩まれている被災事業者の事業復興をサポートする「(株)東日本大震災事業者再生支援機構」と「福島県産業復興機構」の支援決定期間が1年延長されました。

震災前借入金がある人は支援の可能性があるので、平成29年夏頃までにご相談ください。

●(株)東日本大震災事業者再生支援機構(平成30年2月22日まで支援決定)

●圃郡山出張所

☎024(935)7252

▷相談受付時間 午前9時～午後6時(土日、祝日を除く)

●福島県産業復興機構(平成30年3月31日まで支援決定)

●圃福島県産業復興相談センター

☎024(573)2561

▷相談受付時間 午前8時30分～午後5時15分(土日、祝日を除く)

●圃福島県経営金融課

☎024(521)7288

届け出

未登録の銃砲刀剣類を
発見したら、登録を！

未登録の銃砲刀剣類を発見したときは、登録を受けてください。手続きを怠ると、不法所持になり罰則を受けることがあります。

●未登録の銃砲刀剣類を発見した場合の手続き

(1)発見届け出

未登録の銃砲刀剣類を発見したときは、まず最寄りの警察署に発見届を提出してください。

(2)登録手続きの案内

発見届が済むと、県教育委員会か

消防

山火事に注意！

4月は山林周辺での農作業が始まり、山菜採りなど山林への出入りが多くなる時期です。山へ入るときは次のことに注意し、火災予防に努めましょう。

①枯れ草などのある場所では、たき火をしない。

②たき火や野焼きをするときには周囲にも知らせ、一人で行わない。

③強風や空気が乾燥しているときにはたき火、野焼きをしないこと。

●圃猪苗代消防署 ☎(62)4433

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
消息欄は削除しました。ご了承ください。

町の人口

29年3月1日現在の現住人口	14,640人
人口世帯数	4,947戸
出生	7人
転入	29人
死亡	16人
転出	31人

●固定資産税	1期分
●下水道使用料	4月分
今月の納期	
(納期限5月1日)	

4月の献血日程

4月28日(金)

午前9時00分から
午後5時00分まで



町役場で全血献血を実施します。
400ミリℓ献血にご協力ください。

編集後記

近年まれにみる大雪となった今年の猪苗代の冬。まだあちらこちらに雪が残っていますが、ようやく春らしさを感じるようになってきました。ウィンターシーズン前には「この冬は、子どもたちを連れてナイタースキーに行くぞ！」と意気込んでいましたが、結局一度も行くとはいえなく。こうなったら、春スキーを楽しみたいですね。(半澤)

みんなの美術館

4月は吾妻小学校のお友達の作品です(学年は3月10日現在)

Our Museum



「ヘチマ」

学校の畑でみんなで育てたヘチマが夕日に照らされています。人の部分は、別の障子紙に描いたものを切り取り、画用紙の上から貼りました。つるにぶら下がっている人の手の部分を工夫しました。



磯川将虎^{しょうご}さん(4年)



阿部悠翔^{はるか}さん(5年)

版画「大昔の自然」

大昔の恐竜時代、山に囲まれた自然風景をイメージして制作しました。版画なので、山の線が出るように気を付けて掘りました。一つ一つの山の色を変えて着色し、多色刷りで仕上げました。



食生活改善推進員コーナー

～生活習慣病予防メニュー～

No. 238

かに豆腐

(高血圧予防メニュー)



■一口メモ■

長ねぎ、しょうがなどの香味野菜を使っているので、塩分控えめでもおいしいです。

【材料】4人分

・絹ごし豆腐 1丁・かに缶 大1缶・長ねぎ 1本・生しいたけ 4枚・にんじん 1/2本・しょうが 10g・片栗粉 大さじ2(水大さじ4で溶く)・サラダ油 大さじ1・ごま油 小さじ1・A{水 2カップ・酒 大さじ2・塩 1g・鶏がらスープの素 小さじ2}

【作り方】

- ① 豆腐は縦半分に切って、1cm角に切ります。かには軟骨を取り、身をほぐします。しょうがと長ねぎはみじん切り、しいたけは石づきを取り、薄切りにします。にんじんは細切りにします。
- ② 中華鍋に油を熱して長ねぎ、しょうが、しいたけ、にんじんを炒めます。香りが出てきたらAを加え、豆腐を崩さないように入れます。
- ③ 煮立ったら弱火にし、3分煮てからかにを散らします。
- ④ 水溶き片栗粉を加えてとろみをつけます。最後にごま油をたらして出来上がり。

【1人当たりの栄養量】

エネルギー 73kcal、塩分 0.5g